

<レーダパルスの測定>

概要

SBench6-ProとM5i.33xx-x16を使用して測定

- ・高速サンプリングレート(～10GS/s)測定
- ・位相変調波形分析(レーダの距離分解能の向上)
取得したデータをMATLABに転送し、位相復調後にSBnch6にインポート
(SBench6-Proのexport、import機能を使用)
- ・収集した多量のデータをPCを使用して解析するために高速のデータ転送機能が必要

主な仕様・特長



デジタイザ M5i.335xx-X16

2チャンネル, 16ビット, 最大8GS/S

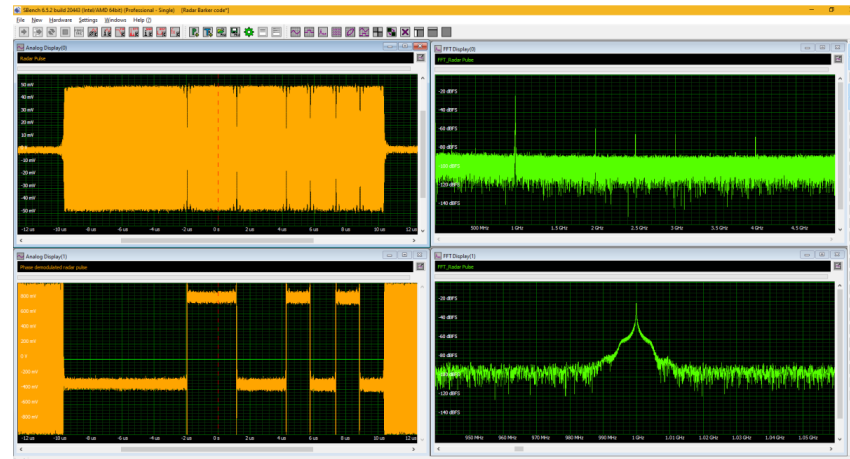
最大メモリ 8Gsamples

転送速度 最大12.8GS/s

SBench6

プログラムなしで、測定条件の設定、測定データの表示、格納、演算(FFTなど)、データのexport。
Importができるツール

SBench6-Proでの解析例



左上 位相変調レーダパルス

右上 パルスの周波数スペクトル

左下 復調された位相

右下 スペクトルの水平方向の拡大

[Application examples for M5i.33xx ultrafast digitizers \(spectrum-instrumentation.com\)](http://spectrum-instrumentation.com)